

教科(科目)	技術	総時数	35 時間	学年(コース)	2 学年
使用教科書	東京書籍『新編 新しい技術・家庭 技術分野』				
副教材等	明治図書『技術・家庭総合ノート 技術分野』				

1 学習目標

- ・「生物育成の技術」によって、環境に優しい野菜を育てよう。
- ・「エネルギー変換の技術」によって、災害時に役立つライトを作ろう。
- ・「情報の技術」のコンピュータの仕組みを知ろう。

2 指導の重点

- ・生活や社会を支える「エネルギー変換の技術」と「情報の技術」について調べます。
- ・生活や社会における問題を「生物育成の技術」と「エネルギー変換の技術」によって解決します。
- ・これからの社会の発展と「生物育成の技術」と「エネルギー変換の技術」の在り方を考えます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生活と技術について理解をしているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会で利用されている生物育成の技術とエネルギー変換の技術について科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、保守点検の必要性及び、生物育成の技術と安全な生活や社会、環境の関わりについて理解している。 ・安全・適切な栽培、検査等と安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術が地域の自然環境及ぼす影響に関わる問題と災害時に想定される問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。 ・よりよい地域社会の構築を目指して生物育成の技術と安全な社会の構築を目指してエネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい地域社会と安全な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生物育成の技術とエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 ・定期テスト などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 ・定期テスト などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 ・定期テスト などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業 時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4 5	機器の仕組み と保守点検の 方法を知る	7	生活や社会を支えるエネ ルギー変換の技術	<ul style="list-style-type: none"> 電気、運動、熱の特性 基礎的な技術の仕組み 技術に込められた問題解決の工夫 保守点検、事故防止、発電・送電 	c	授業の取組
6 7	育成計画を作 成し、作物を 栽培する	7	生物育成の技術による問 題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 問題の発見、課題の設定 設計・計画の立案、製作図 製作品の製作による問題解決 製作の振り返りとまとめ 	c b	授業の取組 栽培記録
7 8		2	社会の発展と生物育成の 技術	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会、環境との関わり 技術の評価、選択と管理・運用、 改良、応用 	c a, b	授業の取組 定期テスト
9 10 11	災害時に役立 つライトを製 作する	12	エネルギー変換の技術に よる問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 問題の発見、課題の設定 設計・計画の立案 回路図や製作図にまとめる 製作品の製作による問題解決 製作の振り返りとまとめ 	c a, b	授業の取組 作品
12		2	社会の発展とエネルギー 変換の技術	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会、環境との関わり 技術の評価、選択と管理・運用、 改良、応用 	c	授業の取組
1	情報の技術に ついて調べる	3	生活や社会を支える情報 の技術	<ul style="list-style-type: none"> 情報の表現などの特性、基礎的な 技術の仕組み 	c a, b	授業の取組 定期テスト
2 3		2		<ul style="list-style-type: none"> 技術に込められた問題解決の工夫 情報セキュリティ、情報モラル 	b	ワークシート

計 35 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

・作品 ・ワーク ・ファイル (ワークシート)

7 担当者からの一言

2年生では「生物育成の技術」と「エネルギー変換の技術」について学びます。「生物育成の技術」では水耕栽培で野菜を選んで育てます。「エネルギー変換の技術」では災害時に役立つLEDライトを製作します。

(担当：金子)